



いけだ 議会だより

No.134

令和4年4月27日発行

コロナを乗り越える
元気な 会染小学校 新1年生

3月定例会

令和4年度一般会計予算

当初予算案から2事業取り下げた予算案を可決

令和4年度一般会計予算の概要、目玉事業 2p

令和4年度一般会計予算

当初予算案から2事業取り下げた経過 3p

9議員が町政を問う（一般質問） 8p～13p

議会活動 食育条例施行記念「新春餅配布イベント」開催 15p

町民の皆さんに聞く（赤田弥壽文さん） 16p



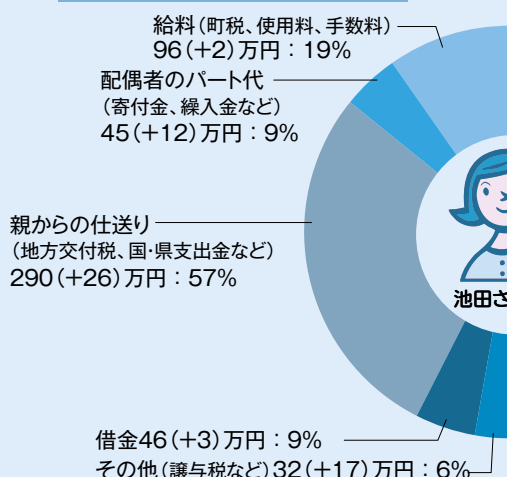
総額50億8,800万円(前年比13.6%増)

かえで広場整備事業) 取り下げた予算案を可決

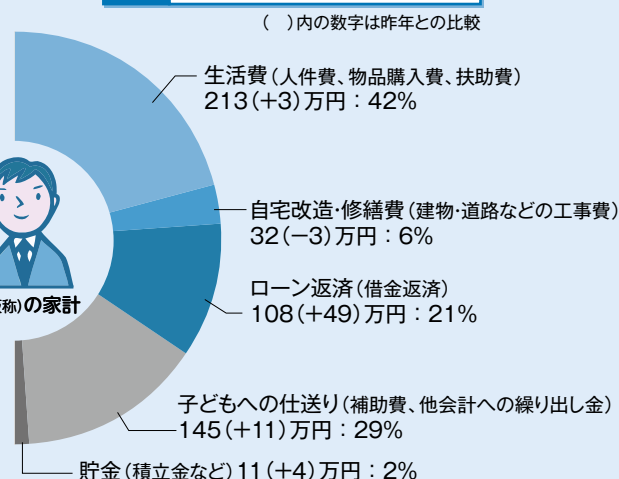
令和4年度 池田さん家の家計簿

令和4年度一般会計予算50億8,800万円を
池田さん家(仮称、年間収入509万円)の家計に置き換えてみました。

収入 年間509万円の収入源



支出 年間509万円の使われ方



令和4年度一般会計予算の特徴

- ・ 予算額50億8,800万円は前年度予算よりも約6億円増である。この最大の要因は後年の公債費(借金の返済)抑制を考慮し、繰り上げ償還(1億1,510万円)や利率の低い町債への借り換え(約3億5千万円)を行うため、前年度よりも約5億円増としたためである。
- ・ 町財政危機のなか国コロナ交付金なども活用し、子育て支援や事業者などに役立つ事業が盛り込まれた。なお、職員8名(退職職員の不補充など)の減により人件費は前年度から約6,500万円減少している。
- ・ 投資的経費^{※1}の比率は約6%と少ない。経常的経費^{※2}と投資的経費のバランス回復が課題である。
- ・ 令和4年度の町債(借金)総額は79.8億円、基金(貯金)総額は16.6億円となる見込みである。

※1 投資的経費: 建設費・災害復旧費などの費用 ※2 経常的経費: 行政水準を維持していく人件費・公債費・生活保護費などの費用

令和4年度の主な目玉事業

中小企業事業 継続支援給付金

事業費 6,000万円

【財源】 コロナ交付金
○米価下落支援も含め、コロナ禍で収入が減少した事業者・農業者を支援する。



プレミアム付き 商品券

事業費 2,675万円

【財源】 コロナ交付金
○1万3千円の商品券を1万円で6千セット販売する。低所得者には1冊(1万3千円)無料配布。

小中学校給食費の 一部町負担

事業費 2,262万円

【財源】 てるてる坊主ふるさと応援基金、一般財源
○児童生徒一人当たり3万円(前年と比べ1万円増)を町負担とする。

当初予算案から2事業（庁舎外壁改修工事）

3月議会のポイント

3月定例会は3月3日から18日まで開かれ、議案19件、同意1件、陳情1件、発議3件を審議し全てを可決した。

～ 令和4年度一般会計予算案審議 当初予算案から2事業を取り下げた予算案提出の経過 ～

- 令和4年度一般会計予算案は予算決算特別委員会（全議員参加）で2日間にわたり審議した。
- 3月11日の委員会で当初予算案（51億1,800万円）のなかで2事業（庁舎外壁改修工事、かえで広場整備事業）の必要性や職員給与の削減など下記5点について町長の考えを聞く機会を設け、再度審議することとした。3月15日の委員会で町長から2事業を取り下げるなどの考えが示されたのち審議し、賛成多数で委員会可決とした。
- 3月18日の最終日に町から訂正予算案が提出され、賛成多数で可決した。

一般会計予算 議会の意見・要求と町長回答（令和4年3月15日）

意見・要求	町 長
1 庁舎外壁改修工事（予算額 3,208 万円）について 《内容》 庁舎外壁の北面の半分と南面、西面を塗装する。 《議会意見》 ・ 財政困難な時期の今、実施すべきか。 ・ 最低限の予算で施工できる方法を検討すべき。	工事費 3,000 万円は取り下げる。 北側・西側については調査のうえ再度補正予算を計上したい。
2 交流センター西側かえで広場整備事業（予算額 3,000 万円）について 《内容》 かえで広場に遊具と四阿 ^{あずまや} を設置する。 《議会意見》 ・ 財政困難な時期の今、必要な事業か。 ・ 最低限の予算で実施できる方法を検討すべき。	予算を取り下げる。今後については内容を議会に提示し、協議のうえ補正予算として提出する。
3 職員給料の削減について 《議会意見》 ・ 町財政危機のなかで財政再建のため職員給料の削減が必要では。	行革委員会の答申もあるので令和4年度中に職員組合との協議の場を持ちたい。
4 特別職の給与について 《議会意見》 ・ 新教育長の給与が町長、副町長よりも高くなることは住民の理解が得られないのでは。	特別職の報酬は私に下駄を預けて欲しい。新教育長が着任したら早期に話し合いを持ちたい。
5 ハーブガーデン等管理委託について 《議会意見》 ・ ハーブガーデンの将来ビジョンが見えず、委託料の精査も必要である。	来年度に課の再編と人事異動もあるので来年度中に内容を検討し、5年度以降の体制を検討したい。

令和4年度予算総額は73億1,736万円

	本年度	対前年度増減
池田町一般会計予算	50億8,800万円	6億1,000万円
池田町工場誘致等特別会計予算	608万円	0
池田町国民健康保険特別会計予算	11億3,640万円	－372万円
池田町後期高齢者医療特別会計予算	1億5,913万円	－337万円
池田町簡易水道事業特別会計予算	815万円	－652万円
池田町水道事業会計予算	2億1,052万円	－608万円
池田町下水道事業会計予算	7億908万円	5,101万円
計	73億1,736万円	6億4,132万円

全ての会計予算の総額は73億1,736万円となり、前年度よりも6億4,132万円の増となった。下水道事業会計予算の5,101万円の増は下水殺菌処理に使う紫外線殺菌装置の改修費である。

ここが
聞きたい

予算審査

質疑

令和4年度一般会計予算議案を予算決算特別委員会で審議しました。そのポイントをお知らせします。

● 保守点検・委託料について

問 保守点検・委託料の額が大きい。見直しを。特に、新地方公会計業務委託料（約百万円）は職員で実施するか町内業者への委託を。

答 今後の課題としたい。

● 町営バスについて

問 運転手が名札を付けていない、バスに押しボタンのない等の改善を。

答 改善されるよう運行会社と話し合う。

● 自治会要望について

問 道路整備などの自治会要望達成率は。

答 10%程度である。

問 自治会要望の一覧を議会にも配布を。

答 配布できるよう調整したい。

● てるてる坊主の館修繕について

問 W i - F i 設置のコストの削減を。

答 ランニングコストを抑える方式を採用する。

● 葬祭センターについて

問 葬祭センターの改修計画は。

答 5年後に9千万円をかけ改修する計画である。

問 待合室のカーテンが短い、ファンヒーターの容量が小さくて寒い、時計が止まっている。以上3点の改善を。



葬祭センター

答 池田松川施設組合と協議していく。

● まちなか第二駐車場について

問 民間企業に貸し出す計画は。

答 48台分のうち25台分貸し出す計画である。県道に近い部分は今まで同様使用できる。

● ハーブガーデン管理等委託について

問 桑茶加工の整備費が計上されているが、桑茶の生産と生産目標は。

答 県の支援金を使い桑ひろつで生産する。現在の生産量は500kgであるが、3年後に3tまでに伸ばしたい。

問 ハーブガーデンでの桑の生産は。

答 桑の実を採る目的で80本栽培している。

問 ハーブガーデンで野菜生産や有機農場にできないか。

答 町民の皆さんの協力

で運営されており、ハーブ苗も伸びている。ハーブガーデンを止める考えはない。

問 花の里づくり推進補助金の見直しを。

答 修正を加えていくのはやぶさかでない。

● 町営住宅について

問 町営住宅の将来計画は。

答 3丁目西・一丁目住宅は現在の入居者の退去後に更地にしていく。3丁目東住宅は長寿命化修繕を行い、豊町住宅は建て替え等も検討している。

〈表紙〉

4月6日 会染小学校 新1年生

今年で創立150周年を迎えた会染小学校。33名の新1年生が元氣よく入学しました。楽しい6年間になることを応援しています。

校庭にある銅像

「春」も入学を祝いました。デコレーションした先生方の温かい気持ち伝わってきました。



本会議質疑・討論

【令和4年度池田町一般会計予算案】 審査結果：賛成多数で可決

反対です

横澤はま議員

- ・財政危機対応期間の予算として経常経費削減が感じられない。
- ・予算に職員や特別職の給与削減がなく納得できない。

和澤忠志議員

- ・職員の給料削減、課長職の管理職手当50%削減及び互助会の公費負担廃止がなく、本気度がみえない。経常経費削減の予算でない。

大出美晴議員

- ・町民益につながらない旧態依然の予算である。
- ・出産子育てや自治会要望に充てる予算も定かでなく夢のある事業もない。

賛成です

倉科栄司議員

- ・町債の繰り上げ償還など将来の財政負担の軽減につながる予算である。
- ・役場組織の見直しや早期退職制度導入など経常経費削減を目指す予算である。
- ・少子化対策やゼロカーボンなどへの足がかりとなる予算である。

中山 眞議員

- ・職員給与削減への一歩前向きな姿勢がみられる。
- ・外壁改修など2事業の予算取り下げなど町の姿勢を評価したい。
- ・財政や農業などの町の課題解決へ迅速な対応が求められる。

大厩美秋議員

- ・財政再建に向けた予算立てがみられた。2事業の取り下げを評価したい。
- ・委託料の削減に意識を持って取り組んで欲しい。
- ・町民が混乱することない新年度スタートを強く望む。

矢口 稔議員

- ・今回の予算取り下げを評価する。
- ・2事業は必要性、費用対効果などを精査し、議会との議論を重ね成果が生まれる事業となるよう強く希望する。

家庭的保育事業等の設備及び運営に関する条例の一部を改正する議案

【審査結果】賛成多数で可決

反対です

薄井孝彦議員

- 家庭的保育事業は外遊びの不足や児童への安全性などで課題が多いので反対である。



【令和4年度池田町工場誘致等特別会計予算についての附帯決議】

予算決算特別委員会の同上議案についての審査で出された意見を附帯決議としてまとめ委員会発議した。全議員の賛成で採択した。

〈内容〉

- ・工場誘致の予算であるが、交流センターかえで東の商業等活性化エリアや旧上原商店跡地などで町が積極的に工場等誘致を行っているとは感じられない。このような状態が継続するとこの予算の必要性や一般会計への予算統合などの検討も必要になる。
- ・令和4年度は町長自らがトップセールスを行い、積極的な誘致の取り組みを強く求める。

【ロシアのウクライナ侵攻に強く非難する決議】

【審査結果】賛成多数で採択

〈内容〉

ロシアのウクライナ侵攻はウクライナの主権を侵害する明白な国際法違反である。ロシアに対し厳しく非難するとともに軍の即時撤退と平和的解決を強く求める。

消費税「適格請求書(インボイス)方式」の実施延期を求める陳情

賛成です

服部久子議員

コロナ禍のなかでインボイス方式を導入すれば事業者を追い込むので採択すべきである。

【審査結果】全議員の賛成で採択



主な議案の説明と 審査結果

3月定例会
提出案件

○…賛成 ●…反対

		審査 結果	松 野 亮 子	大 阪 美 秋	中 山 眞	横 澤 は ま	矢 口 稔	大 出 美 晴	薄 井 孝 彦	服 部 久 子	和 澤 忠 志	那 須 博 天	倉 科 崇 司	矢 口 新 平
議 案	池田町課設置条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	土地利用及び開発指導に関する条例の一部を改正する条例の制定について(民法の改正に伴い、成人年齢が18歳に引き下げとなるため)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	都市公園条例等の一部を改正する条例の制定について(押印を省略することとした方針を踏まえ、関係条例の整備)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	印鑑登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例の制定について(性的少数者に配慮して性別表記を廃止するため)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	町営バス設置条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	電気自動車急速充電器使用料徴収条例を廃止する条例の制定について(町所有の電気自動車急速充電器の譲渡のため、使用料について定める条例の廃止)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○
	令和3年度一般会計補正予算(第9号)について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和4年度一般会計予算について	可決	○	○	○	●	○	●	○	○	○	○	○	○
	令和4年度工場誘致等特別会計予算について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和4年度国民健康保険特別会計予算について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和4年度後期高齢者医療特別会計予算について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和4年度簡易水道事業特別会計予算について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和4年度水道事業会計予算について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和4年度下水道事業会計予算について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
同 意 陳 情 発 議	一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について(人事院勧告に基づき給与改正する)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	特別職の職員等の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について(人事院勧告に基づき給与改正する)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	固定資産評価審査委員の選任について(固定資産評価委員に中村一夫氏を同意した)	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	消費税「適格請求書(インボイス)方式」の実施延期を求める陳情書	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和4年度池田町工場誘致等特別会計予算に対する附帯決議について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議	消費税「適格請求書(インボイス)方式」の実施延期を求める意見書について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	ロシアのウクライナ侵攻を強く非難する決議について	可決	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※矢口議長は表決には加わりません。 ※那須議員は療養中のため欠席です。

9 議員が町政を問う

一般質問は、議員の日常活動と調査・研究、町民の声や自身の考え方をもとに、町長や教育長などの方針を問うものです。

ここが聞きたい
9人が一般質問を行いました

質問者	質問事項
横澤はま 議員	・ 魅力あふれる美しいまちの将来像をどうつなぐ ・ 人口減少・少子高齢化社会に向かったの施策展開について ・ 薫り豊かな文化を育む町立美術館の行方
中山 眞 議員	・ 中山間総合整備事業 社口原工区の農業存続問題と今後の活用を踏まえて、池田町を拠点とするウェルネスプロジェクト提案について ・ 総務省が支援する「地域活性化企業人」制度の提案
薄井孝彦 議員	・ 自転車活用推進の取り組みについて ・ 地下水保全の取り組みについて ・ 社口原での宿泊滞在施設建設などについて ・ 農林水産省の「水田交付金」の見直しについて
服部久子 議員	・ コロナ感染に対する学校、保育園の対策を聞く ・ 原油価格高騰に対する農家、福祉施設への支援を聞く ・ 就学援助制度の充実を求めて聞く ・ 町営住宅の今後の方針を聞く
大厩美秋 議員	・ 企業誘致推進について町長の考えは ・ 通学路危険箇所における行政対応の進捗について
矢口 稔 議員	・ 小中学校で導入が始まるコミュニティスクールの推進方法について ・ 子どもたちの学校での居場所について ・ 職務専念義務について
和澤忠志 議員	・ 農業政策を問う
松野亮子 議員	・ ゲノム編集トマト苗の小学校での配布について
倉科栄司 議員	・ 二期目の折り返しを迎えた甕町政について



横澤はま 議員

魅力あふれる美しいまちの将来像をどうつなぐか

問

財政逼迫の中、経常収支比率の削減を今後どのように進めるか。

答

人件費削減及び減債基金を活用した町債の繰上げ償還等による公債費削減により、経常収支比率の抑制に取り組む。借入を控えながら町債の償還に努め、積立金を増やしていくという「大地に根を伸ばす時期」として取り組んでいく。

問

議会から要望書が提出されている職員給料削減についての考えは。

答

現時点では給料を削減する考えはないが、課の再編や職員数の削減による財政的効果、業務上の負担等検証した上で、財政立て直しの集中期間中には、課題として職員組合と協議していく考えである。

問

会染保育園・非農用地・会染小改築等は、借入金に頼らない目的基金積立ての備えが必要と考えるか。

答

方向性が見え次第、有利な補助金や町債の選定を行っていくが、必ず一般財源の負担が生じるので、公共施設等整備基金などの目的を持った基金へ重点的に積立て後年の事業に備えていく方針である。



中山 眞 議員

町長の重点施策とゼンリゾーツによる町おこし提案は

町長の基本施策

問

農業の担い手不足解消のための法人化をどう進めるのか。

答

若い力が農業に参入するには、安定した収入、高収益作物への取り組み、現代に合った労働時間等の体制づくりが必要と考える。

問

具体的な有機農業の推進策は。

答

有機農業についての研究をハーフステーションのグループと進めていく。広く意見交換や勉強会を行い、有機栽培実践者を増やしていきたい。

問

ゼロカーボン推進の具体策は。

答

すべての住民が意識をして対応していく必要がある。当面、焼却ごみの減量を目標に、リサイクル委員会と取り組んでいく。環境問題に関心を持つことが大事であり、今後教育の中にも浸透させていきたい。

社口原農地の継続と民間企業参入のウェルネス事業提案



薄井孝彦 議員

レンタサイクルを活かした観光施策の取り組みは

答

今年の春から町観光協会（二丁目）でレンタサイクルを行う。季節ごとの名所や飲食店などの立ち寄りポイントをつなぐコース設定を考えている。

問

町、観光協会、飲食店、自転車店などで協議会を立ち上げて取り組みを。関係者で検討していく。

答

自転車を活用することは健康増進やCO₂削減にも役立つ。池田町自転車活用推進計画の策定を。

問

来年度策定する。

答

社口原の宿泊滞在施設建設などについて

問

社口原エリアは急傾斜地特別警戒区域に囲まれており活断層も走っている。社口原に宿泊滞在施設建設は課題が多いと考えるか。

答

社口原は農地転用できない地域であり、宿泊施設建設は許可されない。社口原のソバ生産は猪や鹿による被害が大きく、生産困難になっている。町として支援策の検討を。

問

町として支援策の検討を。

人口減少・少子高齢化社会の施策展開は

問 人口減少に立ち向かうために、将来の新たな経済社会のグランドデザインを描く必要がある。町長の考えは。

答 空き家対策事業をさらに強力に推進し、住居、住宅の確保を目指したい。また、福祉面での充実や環境整備、健康な生活の推進など進めていく。グランドデザインについては、総合計画に網羅されているのでその実現に向け尽力していく。

薫り豊かな文化を育む町立美術館について

問 美術館が開館し27年が経過している。今後の豊かな芸術・文化向上の美術館の再生をどのように考えているか。

答 近々行財政改革推進委員会から答申がある。これを受けて4月以降、教育委員会や美術館運営協議会において、経常経費の削減も含め協議を重ね、それを踏まえた上で決断したい。



豊かな文化を育む町立美術館



問 社口原地区は県・町の事業である。営農継続が困難な中、町が責任をもって維持していく必要がある。どのような施策をとっていくのか。

答 耕作者の高齢化、鳥獣被害等の課題がある。県と相談しながら、耕作者を募り、作物選定等検討していく。

問 ゼンリゾーツによる、企業が収益を保証し、若い世代の参加も可能な農業法人の提案。また、池田町産業の掘り起こしを図り、インバウンドを中心とした観光客の誘客で海外にまで発信、販売を手掛ける今回の提案。池田町のブランド力がかかる絶好の機会である。どうしてテーブルに載せないのか。

答 企業からのプレゼンは、池田町の課題を指摘している提案だと認識している。しかし、当地区は土地利用計画が開発できないこと、土砂災害警戒地域であることなどから、積極的に推進する考えになれなかった。宿泊施設を他の地区に、また農業関連の休憩施設や加工、体験施設など



県営中山間総合整備事業の社口原工区



どの建設は可能であることがわかり、今後、議会や関係団体等と協議をしていきたい。

答 支援策を十分に検討していく。

農林水産省の「水田交付金」の見直しの影響について

問 国は米以外の作物に転作した場合の水田活用の直接支払い交付金を5年に一度稲作をしないと交付しないとされている。町への影響と対応は。

答 町への影響は正確に把握できない。耕作者に国の情報を提供する。

問 今回の見直しにより遊休農地が増える可能性がある。町農業を維持する対策を真剣に検討して欲しいが。

答 農協などと至急話し合い検討していく。

松本盆地の地下水保全の取り組みを

松本盆地の地下水収支の試算を。

答 アルプス地域地下水保全対策協議会に提案していく。



春からレンタサイクルを始める観光協会





学校、保育園のコロナ感染対策は

服部久子 議員

問

児童の感染が増えている。定期的な検査が必要ではないか。

答

県が主体となつて保健所が行う。財政面、検査体制の問題から町独自で実施は困難である。

原油高騰で農家、福祉施設への支援は

問

コロナ感染症で影響を受けている事業者への「中小企業事業継続支援給付金」は農業者も対象にすべきと考えるが。

答

令和3年度の10月から3月までの収入が、令和元年度または令和2年度の同じ時期と比べて20%減少した方への補助が作付面積に単価を乗じた金額の補助のどちらかを選択していただくことを検討している。

問

単価と実施時期は。また、農業者との意見交換会はいつ持つのか。

答

交付単価は他市町村を参考にする。意見交換会は4月中に持つ。

問

高齢者、障がい者にとって、暖房費の節約は健康を害することにつながる。民間福祉施設の暖房費の補助を求める。

答

現段階では、補助は考えていない。国・県の動向を注視していきたい。



企業誘致推進について町長の考えを問う

大塚美秋 議員

問

「土地利用計画」で産業創出候補区域として3区域あるが、企業誘致に向けた現状の取組みは。

答

実際は農地活用されている土地であり、農振除外や農地転用の手続きを考えると、企業の進出までに時間を要する課題がある。町ホームページや冊子の作成配布による情報発信をしている。産業創出候補区域でなければ実現できない規模の相談は現在はない。

問

町有土地の一つである旧上原商店跡地は、造成された状態で何年も活用されず早急な対応が必要と考える。町長はどれほどの緊急性を感じて誘致、活用を考えているのか。

答

町としても、懸案事項の一つとして捉えている。昨年度から4件ほど問い合わせがある。まだ契約まで至らないが、議会へは報告できる段階で話をする。

問

待っているだけではなく、町長自ら行動（トップセールス）を起こす事も必要と考えるが、町長の考えは。

答

商業エリアに近接しロケーションも良く、活用したいと強く願っている。今後は折に触れ、セールスしていきたい。



コミュニティ・スクールの導入推進は

矢口 稔 議員

問

地域の皆さんとともに学校づくりをすすめる「コミュニティ・スクール」(学校運営協議会制度)は県内の18自治体で導入されている。当町の導入時期と推進方法は。

答

令和4年度をスタートの年にしたい。(会染保育園・会染小学校)〔池田保育園・池田小学校〕〔高瀬中学校〕の3つのコミュニティ・スクールを考えている。

問

コーディネーターの重要性と人選は。

答

扇の要であり、コーディネーター次第で運営が大きく左右されると認識している。教育委員会だと学校の方に重きを置きがちだが、情熱があり地域をよく知っている方を町全体で人選していく。

運営規則がなかった学習相談室

問

3月まで、中学校に「学習相談室」が設けられていた。中学校に小学生が通うこともあり、規則等が全く整備されていない中での運営は不適切ではないか。

答

指摘のとおりである。来年度、池田小学校については中間教室設置に向けて早急に決まりを作った運営をしていき

就学援助制度の充実を求める

問 就学援助受給者の修学旅行費の集金はどうしているか。旅行に行かない児童が2人いたが経済的な理由か。

答 旅行の積み立ては、小学校は入学後から6年まで月1200円積み立て、中学校は月6500円を1年間積み立てるか、一括払いである。旅行の不参加の2人は経済的理由ではない。

問 就学援助受給者は、小中学校で64人。そのうち眼鏡が必要とされた人数は、また、眼鏡をかけていない人数は、把握していない。

答 教育委員会として子どもの状況を把握すべきではないか。

問 教育委員会は就学援助の基準により適格かを判断するが、眼鏡が必要か、眼鏡をかけているかの把握はできない。

答 町営住宅の今後の方針は

問 子育て世帯に住みやすい住宅を提供することが人口減少対策につながる。町営住宅の今後を聞く。

答 今後の供給戸数は、県営を含めて100戸と定めている。町営住宅建設の予定はない。



通学路危険箇所における行政対応の進捗について

問 昨年9月に通学路の緊急点検を行った結果、早期に7カ所の対策が必要となったが、まもなく新学期を迎えるにあたり、改善の進捗状況は。

答 路面標示1カ所、区画線2カ所、速度規制標識2カ所、樹木伐採2カ所を今年度内に実施するが、登校時間帯の道路規制は現時点では行う予定はない。

問 子どもたちの安全教育の一層の充実とドライバーの意識改善に努めると言われたことについての実施状況は。

答 学校での安全教育はコロナ禍により2年実施できていない。ドライバーへの意識改善は、自治会を通じて安全啓発を促すよう提案していく。

意見

学校での安全教育は警察署の生活安全課で前向きである。コロナ禍を考慮して、早期実施を望む。



早急な活用が望まれる
旧上原商店跡地



たい。

子どもたちの多様な相談窓口設置を

問 学校に行かれない子どもたち等の相談窓口について、保護者向けの窓口はあるが、子どもたちが直接相談できる場所や窓口がわかりにくい。手紙や電話だけでなく、ラインなどのSNSでの相談等多様な窓口設置ができないか。

答 多世代相談センターでも相談が可能である。しかし、周知等が不十分な面が多々あると思う。ポケットサイズのチラシや、いろいろな形で相談窓口の周知をしていきたい。



地域の皆さんが学校づくりに参加する
コミュニティ・スクール制度が始まる





農業経営の危機に
対しての町の農業
政策を問う

和澤忠志 議員

問

野菜出荷農家の高齢化で地元店への野菜出荷量が年々減少している。町若手農業者の育成に力を入れてほしいが、

答

関係機関と協力し農業者の自主性を尊重したサポートをしていきたい。

問

肥料の高騰対策として土壌診断の実施は全額補助、肥料や施肥方法の変更は半額の補助の国「肥料コスト低減体系緊急転換事業」の申し込み方法などに町の支援を。

答

農協が窓口になっている。町は関与しないが制度のPR等を行いたい。

問

農業委員会の機能強化の一環として、それぞれの集落・地域において十分な話し合いを行い、「人・農地プラン」の作成支援をしてほしいが。

答

実質化された「人・農地プラン」は令和3年3月に策定し、これに基づき活動をしている。国はさらに発展させる形で「農業経営基盤強化法」の改正を検討し、令和5年度から令和7年度にかけて作成期間としているのでそれを受けてプランの策定に取り掛かりたい。

問

市民農園の利用率を高めて欲しい。また草刈りをこまめに管理して欲しい。



小学校でのゲノム
編集トマトの苗配
布について

松野亮子 議員

問

ゲノム編集トマトの苗を全国の小学校に配布することを、ゲノム編集トマトを開発した企業が計画をしている。このトマトは、ゲノム編集技術により、血圧を下げる作用があると言われているギャバという成分の濃度が高い。厚生省は、DNAを切断して何も挿入しない遺伝子改造に関しては、安全審査も行わず届け出さえ行えば流通させることを認めた。ゲノム編集トマトも、安全性審査なしの届け出だけで流通が認められ、2020年12月より栽培および販売ができるようになった。ゲノム編集については、利点とされる点ばかりが強調され、そのマイナスの面についてはマスコミではほとんど取り上げられていない。このトマトの開発企業は、安全性を確認したとしているが、実際にゲノム編集トマトを食べた場合の長期影響調査もまったく行われていない。遺伝子が壊されることによって、異常なたんぱく質が生成され、食品となった時にアレルギーを引き起こす可能性があることや、ゲノム編集により、がんになりやすくなることなどが最近の研究で明らかになりつつある。子どもたちを安全性が確立していない新技術により



2期目の折り返し
を迎えた麁町政に
ついて

倉科栄司 議員

問

2期目を迎えた麁町政のこの2年間、3億円削減プロジェクト・行政改革推進委員会の立ち上げ等まさに財政危機に直面した2年間であった。任期の折り返しを迎えこの2年間をどうとらえ総括しているか。

答

この2年間は財政逼迫状況が表面化し、財政の立て直しに取り組んだ2年間であった。町民の皆さんにご協力をいただき経費の削減を行い、財政調整基金を取り崩すことなく予算編成ができ、財政状況改善の見通しが見えてきた2年間とらえている。

問

年度末までに8名の職員が退職し育休に入る職員も多い。現有の職員にかかる業務負担の増にどう対応していくか。職員への業務負担の増は避けられないと考える。会計年度任用職員等に対応し、課の統合も行われるのでその中で効率を図り業務分担を考えたい。

問

2期目の公約として「静から動へ」を掲げたが、この2年間で振り返ると実感として感じられない。「静から動へ」として何をどう具現化したか。

いが。

答 利用者と話し合い課題を解決したい。草刈りもよく見ながら管理をしていく。

問 地域を守り農業を守るため、地産地消を推進する地産地消プロジェクトチームの設置を。

答 重要な課題ではあるが今は設置する考えはない。

問 米価下落、肥料その他諸材料の値上げ、高齢化、担い手不足、政府の減反補助金の見直し（減反の畑には5年に一度水田にしないと補助金は出さない）高収益作物の導入等、これからの農家は生き残れるのか。5年先、10年先、20年先まで持続可能な農業の設計図を作成するための「池田町農業ビジョン検討会」の設置を。

答 複数の農業関係の委員会があるので、統合するなど組織の見直しができるのかどうか検討し、十分機能が発揮できるような仕組みに変えていきたいと考えている。



草刈りされていない市民農園



つくられた食品のモルモットにはしてはならない。

「子どもがまん中」を教育大綱とする当町として、来年度以降、ゲノム編集トマトの苗の無償提供があった場合、町としてどのような対応をとるのか。

答 ゲノム編集トマトの苗が実際に提供されるかどうかかわからないが、安全性等について未知のものであるので慎重に対応する。

問 子どもにギャバ成分の濃度が高いトマトではなく、菌類が活発な栄養分豊かな土を使って、栄養価の高いトマトを作ることを学ぶほうが、子どもたちにとって役に立つのではないか。土中の菌類も含めた種の多様性について、小中学校で学ぶ環境教育の一環として、以前一般質問で取り上げた雑草堆肥を使った野菜作りをとり入れることはできないか。

答 必要とあれば検討したい。



家庭菜園の無農薬トマト



答 財政健全化に向けて対応した2年間であり、新型コロナウイルスの影響もあり新たな政策の展開が難しい状況であった。その中でも町内初のワイナリー設置、教育大綱の施行、ハーブガーデン等ほ場の町直営等を実施した。実現には至らなかったが企業誘致でも動きがあったし、今後に期待が持てる動きは現在もある。

問 町長の発言は多方面に渡り非常に大きな重要な意味合いを持つ。今後大型事業が続くし現行事業の推進にも大きな関心が寄せられている。踏むべき手順を踏み十分な合意形成を図る中で慎重な発言を望むが。

答 首長としての発言には十分重みを感じ注意しているが、不用意と受け止められた点があればより慎重に対応していきたい。

問 新年に当たり課長会議で町長は「今年はいろいろなことを決める年」と発言している。何を決めていくのか。

答 現在会染西部ほ場整備の非農用地の活用、会染保育園の環境整備事業、北アルプス展望美術館の在り方等の方向性について議論がされている。また複数の企業進出も計画としてある。それらの方向性について決めるべきは決め、方向を定めるべきは決めていきたいと考えている。



令和3年度一般会計補正予算（第8号）

2022年1月21日の臨時会で全議員の賛成により可決した。

主な内容

○補正額：1億5,836万円

住民税
非課税世帯への
10万円支給

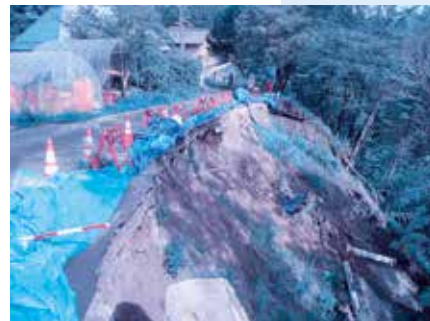
事業費 1億2,260万円

〔財源〕 国補助金

陸郷小実平地区の
土砂崩れ復旧工事

事業費 3,135万円

〔財源〕 国負担金など



小実平の工事予定箇所

総合体育館
カーテンレール修繕

事業費 75万円

〔財源〕 一般財源

コロナ対策

事業費 346万円*

〔財源〕 国コロナ交付金

コロナ感染防止消耗品、
エアベッド100台
感染防止用アクリルパーテーション
池田保育園エアコン設置

※事業費の確定にともない856万円を減額するとともに1,202万円の新しい事業を行った。補正予算として差額の346万円を表示した。

令和3年度一般会計補正予算（第9号）

2022年3月18日の定例会で全議員の賛成により可決した。

主な内容

○補正額：4,101万円

てるてる坊主の
ふるさと応援寄付金増
4,200万円

〔理由〕

同寄付金が1億円を越えたため

議員報酬
10%削減額
291万円の
福祉基金への
積み立て

池田小学校への
4台の防犯カメラの
設置

事業費 106万円

〔財源〕 一般財源

墓地公園に手すりを
付ける工事

事業費 99万円

〔財源〕 一般財源



手すりが設置される墓地公園

「あづみ野池田いきいき食育条例」施行記念 新春餅配布イベント開催

昨年9月定例議会で議決された「あづみ野池田いきいき食育条例」が昨年11月から施行されました。このことを記念して議会食育推進議員連盟主催で、1月10日午前10時から道の駅ハーブセンターにて新春餅配布イベントを開催しました。

当初、餅つき大会や豚汁のふるまいを計画していましたが、新型コロナウイルス感染に配慮し餅配布としました。約150の方が参加し、池田町に働きにきている赤田工業(株)、中部日本電子(株)、日本アルプス国際学院の外国人労働者にも餅を届けました。

イベント開会式の挨拶で横澤はま副議長は次のように述べました。

《「食」は人を良くすると書き、食は命を育む。条例はわたしたちのよりどころ。町民一人ひとりの課題として、元気でコロナに負けない時代になるよう4月からの第2次食育推進計画にも関わっていきたい。》

イベントにご協力いただいた女性団体連絡協議会、株式会社てる坊市場などの皆さんに厚く御礼申し上げます。



新春餅配布イベント開会式



交流センターに掲示された「食育条例ご案内」

第2次池田町食育推進計画（令和4年度～令和8年度）が4月から施行されます。町民一人ひとりが「食」を楽しく学び、健全な心身を培い豊かな人間性を育むことができるよう、議会として町の食育施策の実施状況を検討し、必要な提言を行うとともに、町及び町民の皆さんと力を合わせ「健康長寿のまちづくり」に努めてまいります。

シリーズ 町民の 皆さんに聞く

— 第22回 —

編集委員が町民の皆さまにお聞きし、生の声を届けます。

20XX年の仮想生活

何もない部屋にいなからハワイのビーチに立っている。風や波の音、海の香り足裏の砂、肌には潮のべたつきも感じる。脳に埋め込まれたマイクロチップと外部端末が無線通信し、五感に情報を与えている。今や感覚や情報は五感から脳へ流れるのではなく、脳から五感へ逆流するパッチャルの世界で我々は生活している。外部端末は全世界と繋がる接点であり、あらゆる情報入力と脳内の情報出力を担っている。脳



赤田弥壽文さん（三丁目）

経歴

赤田工業株式会社社長 58歳
《赤田工業株式会社紹介》
○日本トップクラスの真空加工技術会社
○平成26年10月 ふるさと企業大賞受賞
など様々な受賞
○平成29年2月 「NHK 凄ワザ!」に出演
○外国人労働者の受け入れ、指導にも尽力

内思考と外部情報は端末に映し出され、食事も選択するだけでドローンが自宅まで運んでくれる。
つながりの本質
個々のコミュニケーションは外部端末を通し映像・音声・文字・外国語にも翻訳され多くの人と繋がる。リアルな対面は殆どない。家庭においても同様で不便を感じない。逆に人と実際に会つと目が泳ぎ、恐怖心が沸き上がる。多種多様のアプリを脳内チップにダウンロードすれば、初級レベルの料理・スポーツ・演奏

が即時にできる。アプリと脳が連動し筋肉を動かす。子どもは「九九の暗記」「漢字書き取り」「逆上がり」の努力をすることが無くなった。つながる人が増大したが、発言が誤解を招き「炎上」が早くなり大きくもなった。中には、油を注ぎ楽しむ人も少なくない。仲間・組織内の発言でもリクシ批判されることを恐れ「本心の自己表現」が出来ず、当たり障りの無い会話になった。

電池切れ

つながり中外部端末の

電池が切れシャットダウンした。昔、スマホを持ち忘れた日の不安感が蘇る。「小さなモノ」が動かないだけでリアルな命に別状はない。しかし、それが片時でも肌身から離れると激しい動揺を起こし顔面蒼白となる。個人

支出の多くは衣食住から外部端末、脳内活性アプリへの支払いに変わった。このつながりを維持するために働いているようだ。個人収入は更に格差が広がり1億中流社会は遥か昔話。脳内チップ、外部端末アプリの事業者は莫大な収益を生み、途上国予算を超える資産を持つ。リアルな命をつなぐ「食」従事者は、相変わらず厳しい。親の収入差は子供の脳内に埋め込むチップ、アプリ性能に格差を生む。我が子には高次元のパッチャル

教育をさせたいのだ。目覚める

子供のころ隣に味噌を借りに行った。鍋をもつて豆腐や蒟蒻を買いに行った。駄菓子には付けで買った。どれもこれもお隣同士リアルにつながっていた。家庭での農作業は「働く基本」「命の食」を教えるリアルの場であった。

ケガをしたら誰かが責任を取らされる理由で遊具が撤去、木登り等のリアル遊びができず、危険感知能力が著しく低下し、多様な情報の真偽分析が出来ない。自身の五感を駆使して脳を活動させ、手足を動かして実体験をさせる。修練の極意「心技体」をリアルに行つことは、いつの世も必要だと感じる。しかし、パッチャル体験至上主義の気運は収まらず、時流を変えることはできるだろうか。

編集後記

3月議会は新年度予算案の審議であり重要な定例会でした。一人ひとりがつかりとした議論を戦わせて閉会する事ができました。行財政改革推進委員会より答申された財政危機対応期間とした5年間の最初の年であり、この4月中旬に財政再建のロードマップが示される予定です。しっかりとチェックをし協力していかなくてはいけないと思っています。苦しい時こそみんな力を合わせる事が大事なことと思います。

厳しく長い冬がようやく過ぎ春が訪れようとしています。春を待っていた「となりのみよちゃん」と一緒にみんなが野原に行き青空の下で大自然の恵みを体いっぱい受け入れ、生きていく喜びに感謝し明るい未来に向かって共に手を繋いで前に進みましょう。

コロナの終息とロシアのウクライナ侵攻が一刻も早く収束することを願っています。

議会報編集特別委員会

委員長 薄井 孝彦
副委員長 大厩 美秋
委員 横澤 はま
和澤 忠志
倉科 栄司
矢口 新平

次回議会だより発行は令和4年7月27日(水)を予定しています。ぜひ、御覧ください。